



令和8(2026)年度

畝傍東小学校グランドデザイン

めざす学校像

学校教育目標

「豊かな感性と実践力をもち、自ら学びたくましく生きる児童の育成」

協働する学校

全職員がすべての
児童にかかわる

魅力ある学校

児童にとって活躍
の場がある

信頼し合う学校

地域や保護者と
連携して進める

開かれた学校

児童のがんばり
を情報発信する

みんなが明日も学校に来たいと思える
居心地のよい明るく元気な学校！

めざす教職員像

- 資質の向上に向け、絶えず研修に努め、授業改善等に取り組む教職員
- 互いに信頼し、尊重しながら人間関係を構築し、教育活動を行う教職員
- 課題や目標に対して共通理解を図り、一致団結して指導にあたる教職員
- 組織の一員としての自覚をもち、自分の言動に責任がもてる教職員

人事評価

めざす児童像

やさしい子

よく考える子

たくましい子

明るく元気な子

家庭・地域との連携

- 学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進
- PTA活動への参加・協力
- 学校からの積極的な情報発信

学校評価

- 「チーム畝傍東」→課題に対し「組織」で対応できる体制づくり
※一人で抱え込まない。チームとしてみんなで支え合う。
- プロの教師として
 - (1)子ども一人一人の可能性を引き出す授業づくり
…「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
 - (2)児童の自己有用感の育成…いろいろな人との交流体験を通して、人の良さに気づき、人とつながる ことの大切さを感じ取らせる。
 - (3)学ぶ意欲の育成…児童の「がんばり」を認め、ほめて、励ます。
 - (4)人権意識の確立…他を認め、支え合い励まし合おうとする学級集団づくりから。
- 特色ある学校づくり
 - (1)確かな学力の育成…学ぶ意欲を高めて、基礎学力の定着を図る。
※言語活動の充実を図り、主体的に学ぶ力を育む。
 - (2)体力向上…「日常的な外遊び」「食育・保健指導等」を通しての健康づくりを推進する。
 - (3)たてわり活動や学年・学級集団づくりの充実…多様性を認め合える児童の育成と、幅広い人間関係づくりを図る。
 - (4)自己肯定感の育成…児童の自己有用感を高めることで、自己肯定感を育み、夢や目標をもって前向きにがんばる児童を育てる。
※達成感を味わえる「成功体験」を通して自信をもたせ次への意欲や主体性を育てる。

<PDCAサイクルによる学校評価の充実>

- 教育活動の評価
- 各部・学年の評価
- 職員の自己評価

→ 各行事や学期末の評
価(チェックシートの活用等)

- 学校関係者評価
- 保護者アンケート
- 児童アンケート

責任



信頼